

教育出版部報告

資本主義没落の回避策として、プロレタリア階級への徹底的搾取と抑壓を意味するブルジョアファシズムの危険性の愈々増大せんとする急迫的情勢を前にして、組合員大衆の階級意識の高揚は益々その必要性を重加せるものである。

しかして組合員大衆の階級的意識の高揚は主として教育出版部の活動にまつものでなければならぬ。

教育出版部はこの客観的情勢の急迫化を痛感し、課せられたる重大責務を果すべく過去一ケ年に亘つて努力を続けたのであるが、経費、時日等の關係上意圖することの全てを實現し得なかつた。

組合機關誌「海員」を毎月一回定期刊行して組合の指導理論乃至當面せる諸問題に對する組合の態度を宣明し、これを組合員に配布すると共に、毎月組合情報を書き留めして各支部に送附し本支部間の聯絡を計り、更に國內乃至國際の諸問題に關する特別資料を隨時提供して組合運動遂行の上へ便ならしめた、更に本年度に於てはI.T.F.總主事エドフィンメン氏原譯茂木惣兵衛氏譯の國際資本主義とインターナショナルなるパンフレットを刊行し組合員の國際的智識の普及につとめた。

右の如き出版物による教育運動の外、本支部に於て定期乃至臨時茶話會を開催し政治、經濟、労働等全般の社會問題の研究討論及組合運動の報告批判等を行つてゐるが、更に組合員の要望に依り兵庫縣相生等に於て移動茶話會を開催し、組織部員並に教育出版部員出席して海上労働問題に對する組合の態度方針を説明し同時に組合員の希望意見を聴取し組合運動の効果的遂行の上に資する處極めて多かつた。

更に組合創立十週年紀念と組合員のプロカルとを兼ねて八月一日より三週間に涉りて本部大講堂に於て左の如きプログラムにより組合創立十週年紀念社會問題講習會を開催したが、實際出席者百三名、出席延人員八百二十二名の多數に達し組合員の階級意識の高揚の爲に多大の效果をもたらすことが出來た。

組合創立十週年紀念社會問題講習會

八月一日	經濟學概論	講師 阪本 勝君	出席者聽講生	五六名
二日	同	同	同	四九名
三日	唯物史觀	同 森戸辰男君	同	七六名
四日	同	同	同	五四名
五日	海上法規批判	同 都竹要次郎君	同	二七名
六日	日本社會運動史論	同 赤松克麿君	同	六九名
八日	産兒制限編	同 奥平弘之君	同	二五名
十日	海上労働問題	同 西巻敏雄君	同	二一名
十二日	最近のチャーナリズム	同 渡瀬亮輔君	同	一七名
十三日	社會學概論	同 岩崎卯一君	同	五九名